

2004年 9月15日(水) 午後12時52分 第2子 長男 出産 2,890g

今回の妊婦生活は前回ながら、たつわりに台まり、お腹の張り、子宮筋腫、低置胎盤、あげくの果てに羊水過少、重症胎児発育遅延とまで診断されてしまい、毎日を憂うつな気分でも過ごしていました。前回のお産もやすの先生に取り上げてもらっていたので、今回も絶対ここでと、思っていたのに、いろいろ言われてビビッてしまい、7・8ヶ月頃には「今回はあきらめて病院にしよう…」と決めていました。それでもと思やすの先生のところへ相談に行くと、「大丈夫よ」と…。その一言だけでいろんなものがふっさきて、今まで「もんもん」としていた気持ちたちがどこかへふき飛んでいったような感じでした。

予定日から3日後の朝おしるしがあり、その2日後5分間隔にはなるものの、そんなに強い陣痛ではなかつたのでまだ「ごめん」と思いきや、やすの先生のマッサージュを受けていると、来るわ来るわ陣痛が!! 本当に「魔法の手か!？」と思てしまいました。そのあとも痛みがくる度やすてもらえるのがとても心地良く、手が離れてしまうと不安になるくらい頼ってしまいました。おかげで、病院で言われていた低置胎盤による大量出血もなく、子供も2,890gと1人目より大きく、会陰も切れず「時間もかからず」—— 最高のお産ができました。

前のお産は初めてだったので、何がなんだかわからないうちに終わってしまい、今思い出そうとしても思い出せないのが心残りだったので、今回はとても冷静に出産に臨んだように思います。いきんでいる最中「あー、本当に病院でなくてよかった」と思えたくらい、(しみみとこ)でのお産の素晴らしさを感じました。やすの先生は「お産の主演は産婦さん」と言っていました。(石巻かにそうですが、やすの先生あってのステキなお産だったと思います。(ずっと手を握り応援してくれた主人にも感謝))

病院で産むことがあたり前の世の中ですが、女性には「産む力」があるのだということをもっといろんな人が知ることができればいいなと思います。ここ中山助産院は、それを感じる事ができる場所。ここで産む人がもっとも、と増えようように…

お二人の産婦と赤ちゃんへの愛情の注ぎ方に脱帽です…

最後に、お孫さんの話しをうれしそうにしてくれた千ヨさんも、いろいろありがとうございました。やすの先生ももうすぐおばあちゃんですね😊 お二人共 体に命を付けて、いっまでも頑張ってください。そして愛ちゃん、出産・育児、そして夢(?)が叶うよう頑張ってください。

本当にお世話になりました。

2004.9.19

君島